

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-122	小学校	道徳	道徳	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 504	小学道徳 5 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしています。

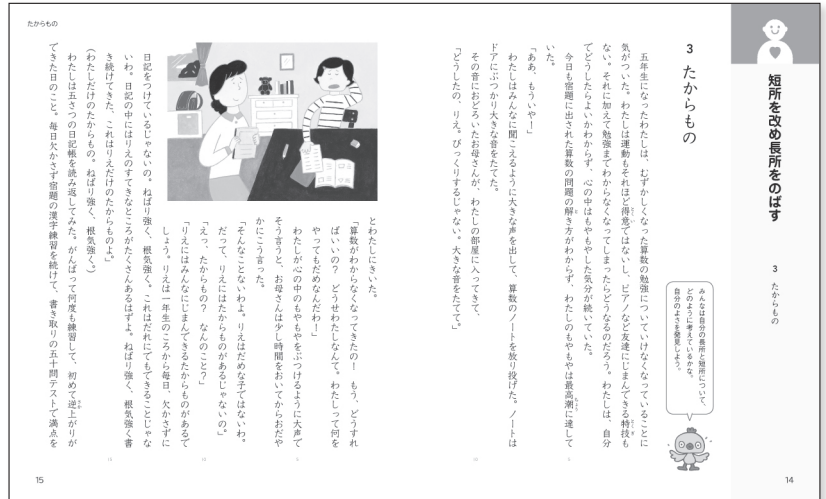
本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにします。



▲5年 22 わたしにできることを (pp.98-99)

考え、議論する姿勢を身に付ける教科書

人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値観が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を探し続ける資質・能力を身に付けることができるようにしています。このような学習を通して、**自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができるように**しています。



▲5年 3 たからもの (pp.14-15)

現代的な課題と向き合う教科書

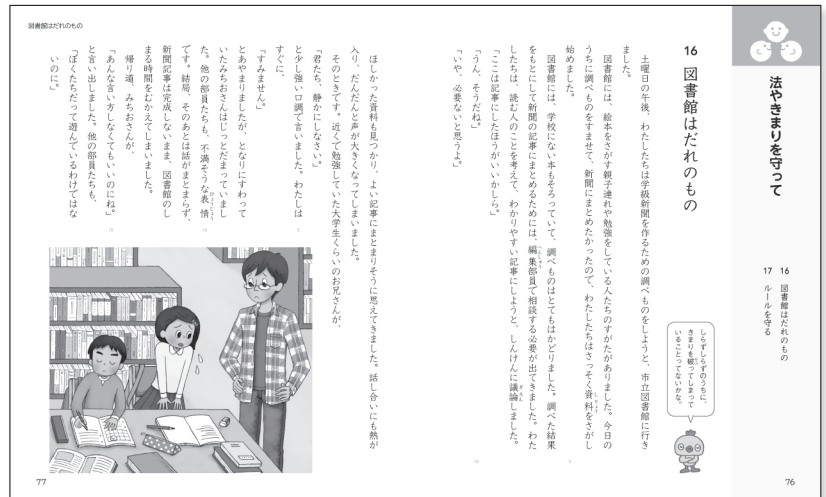
児童をとりまくさまざまな社会的・教育的課題を多く取り上げています。いじめ問題や情報モラルに関する学習を通して、**自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことができます**。また、かけがえない生命についての学習を通して、**生命を尊び、自然を大切にすることを、そしてグローバル化が進む社会についての学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように**しています。



▲5年 8 知らない間のできごと (pp.36-37)

問題解決的な学習を重視した教科書

自らの人生や社会において答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる解答を得るための資質・能力を養うことができます。このような学習を通して、**真理を求める態度を養うこと、そして主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養うことができるように**しています。



▲5年 16 図書館はだれのもの (pp.76-77)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
五年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	五年生の道徳の学習に向けての心がまえをもつことで、これからの学習で豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
自分の行動に責任をもって 1 今度こそ!	集会委員の役割を題材にして、自ら考えて責任ある行動をすることの大切さを考えることにより、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.6-9
れいぎ正しく真心をもって 2 心をつなぐあいさつ(スキル)	挨拶を題材にしたモラルスキルトレーニングを用いて、時や場面などに合わせた挨拶を学ぶことにより、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.10-13
短所を改め長所をのびます 3 たからもの	自分のよさに気付くことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉	pp.14-17
節度・節制を心がけて 4 ある朝のできごと	朝食をとらず登校し、トラックにひかれそうになってしまったできごとを題材にして、健康を保つことの大切さを考えることにより、健やかな身体を養い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第1号、2号〉	pp.18-21
国や郷土を愛する 5 志高く、今を熱く生きる (渋沢栄一) 6 よさこいソーラン祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・渋沢栄一の功績を通し、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 ・たくさんの方の思いが受け継がれている地域の祭りについて考えることにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 	pp.22-25 pp.26-29
豊かな人間関係をつくる 7 ロレンゾの友達 8 知らない間のできごと	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を犯した可能性のある友達への対処を題材にして、友情とは何かを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 ・不用意なメールの使い方により気付かないうちに友達を傷つけてしまったできごとを題材にして、情報モラルを身に付け、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 	pp.30-35 pp.36-41
相手の立場に立って 9 ほのぼのテスト	特急バスのできごとを題材にして、相手の気持ちを思いやり、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.42-45
誠実に明るい心で 〇ごまかしをせず正直に 10 参考にするだけなら	インターネットで見つけた読書感想文を写してしまったできごとを題材にして、情報モラルを身に付け、正義と責任を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	p.46 pp.47-49
くじけずに努力する 11 新幹線開発物語(三木忠直) 12 長嶋茂雄の人生は七転び八起き (長嶋茂雄) 13 自動車への限りない夢 (豊田喜一郎)	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の開発に向けて努力する人々の姿を題材にして、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉 ・長嶋茂雄氏の生き方を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉 ・豊田喜一郎の自動車造りへの情熱を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました。〈第2号〉 	pp.50-55 pp.56-59 pp.60-63

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
社会に役立つことを 14 横浜港のガンマンの思い (上坪茂)	ガントリークレーンの運転手の仕事に対する考え方や姿勢を通して、仕事をするうえで大切なことを考え、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)	pp.64-69
集団の中で役割を果たす 15 森の絵	学習発表会を題材にして、自分の役割を考え、学校などの集団の中で充実した生活を送ろうとする意欲づけをし、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号)	pp.70-75
法やきまりを守って 16 図書館はだれのもの 17 ルールを守る (スキル)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館のできごとを題材にして、法やきまりを守ることの大切さを考えることにより、正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいた態度を養えるようにしました。(第3号) 学校や生活の場面でのルールを題材にしたモラルスキルトレーニングを用いて、ルールの必要性を考えることにより、正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいた態度を養えるようにしました。(第3号) 	pp.76-78 pp.79-81
かけがえのない命を尊重する 18 オオカミから教えられたこと (坂東元) 19 稲むらの火	<ul style="list-style-type: none"> 動物園でのオオカミの飼育を題材にして、かけがえのない命や、ほこりをもって生きることについて考え、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第4号) 津波から村人を救ったできごとを題材にして、稲むらに火をつけるという行動の意味を考えるとともに、生命を尊ぶ態度を深め、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号) 	pp.82-85 pp.86-89
正義の実現のために ○差別のない社会へ 20 だれかをきずつける機械ではない 21 モントゴメリーのバス (キング牧師)	<ul style="list-style-type: none"> ネットいじめを題材にして、携帯電話などの情報端末の使い方に関する注意を喚起し、情報モラルを身に付け、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号) モントゴメリーのできごとを題材にして、差別のない社会をつくるために必要なことを考え、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号) 	p.90 pp.91-93 pp.94-97
家族の幸せのために 22 わたしにできることを	物忘れがひどくなった祖父を題材にして、家族の一員としての自分の役割を考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号)	pp.98-101
美しさや気高さを感じて 23 よみがえる五百年前の色彩	システィーナ礼拝堂の天井画の修正の話を題材にして、歴史的な建造物や芸術作品をどのようにして守っていくか、豊かな情操と道徳心を培う態度を養えるようにしました。(第1号)	pp.102-105
真理を探究する 24 二億人を救った化学者 (大村智)	大村智氏の研究への姿勢を通して、人間に有用な物質の発見に尽力した功績について考え、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)	pp.106-111
支え合いや助け合いに感謝 25 悲願の金メダル (上野由岐子)	北京オリンピックで活躍した上野由岐子氏の話を通して、自分を支えてくれている他の人への感謝の念をもち、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号)	pp.112-115
自然かん境を大切に 26 トキのまう空 (近辻宏帰)	野生のトキの保護と人工繁殖への取り組みを題材にして、自然環境を守ることを考えることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)	pp.116-119
広い心をもって 27 銀のしょく台	ビクトル・ユゴーの作品を題材にして、過ちを犯した人を許す寛容の心について考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号)	pp.120-125
すすんで国際親善に努める 28 ブータンに日本の農業を (西岡京治) 29 青い目の人形	<ul style="list-style-type: none"> ブータンに日本の農業技術を指導したできごとを題材にして、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号) 戦争中の反米政策の中、米国から贈られた人形を守ろうとしたできごとを題材にして、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号) 	pp.126-130 pp.131-135
よりよく生きる 30 花に思いをこめて (星野富弘)	体が不自由になりながらも花の絵を描き、思いを込める星野富弘氏の生き方を通して、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号)	pp.136-139
国や郷土を愛する 31 世界にひびく伝統の音	明珍火箸風鈴が守られてきた歴史とそこに込められた人々の思いを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。(第5号)	pp.140-143
かけがえのない命を尊重する 32 希	難病に立ち向かい、短い生涯を閉じたきょうだいの姿とおして、生命の尊さを学ぶとともに、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号)	pp.144-149

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
家族の幸せのために 33 この空は遠い日本とつながっている (和田重次郎)	アラスカ開拓に従事した和田重次郎の生き方を題材にして、自分を支えてくれた母を思いながら異国の地で生きることを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.150-153
自然かん境を大切に 34 知床の自然	知床の豊かな自然を通して、自然とそこにすむ生き物のつながりを考えることにより、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.154-155
よりよく生きる 35 一人はみんなのために…… (元木由記雄)	ラグビー元日本代表の元木由記雄氏の生き方を通して、周りの人と支え合うことの大切さを考えることにより、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.156-159
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	一年間の道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.160-162 p.163

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

実在した（する）人物から学ぶ

各分野で活躍した（している）人物を多く取り上げ、児童が興味をもって読めるよう、その功績や活動実績だけでなく、苦労したところや心の葛藤なども紹介し、さまざまな人物から多くのことを学べるよう工夫しました。

ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-122	小学校	道徳	道徳	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 504	小学道徳5 はばたこう明日へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

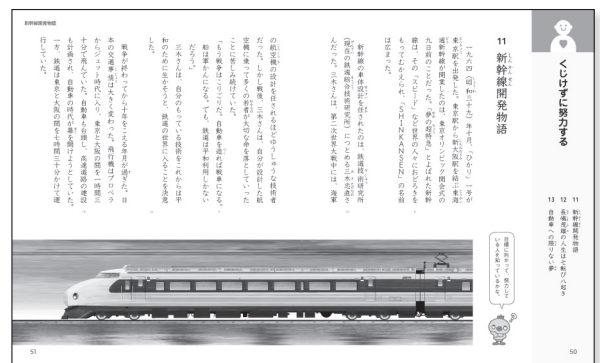
内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせて、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲5年 11 新幹線開発物語 (pp.50-51)
(見開きイラストページ)

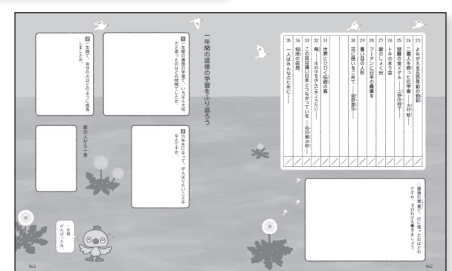
教科書の全体構成

○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習でいちばん大切だと



◀5年 五年生の道徳の学習が始まるよ (pp.2-3)



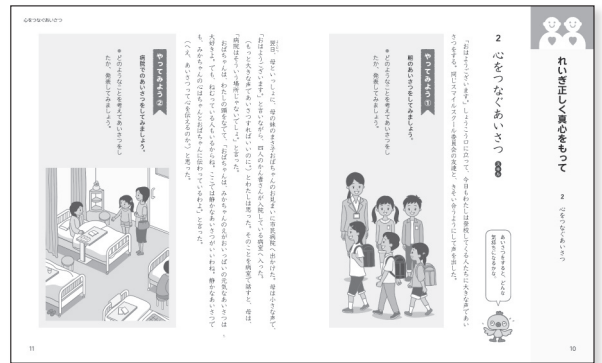
5年 学びの記録▶
一年間の道徳の学習をふり返ろう (p.162-163)

思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして次の学年に進級したときになりたい自分を想定して、次の学年へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしてあります。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置してあります。

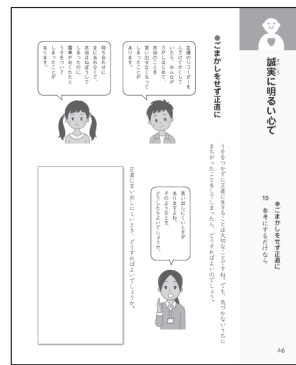
多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。



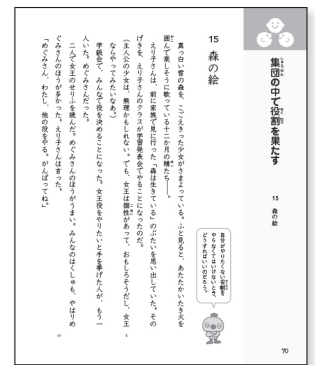
▲5年 2 心をつなぐあいさつ (pp.10-11)

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。



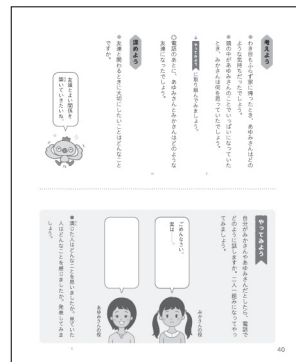
▲5年 ○ごまかしをせず正直に (p.46)



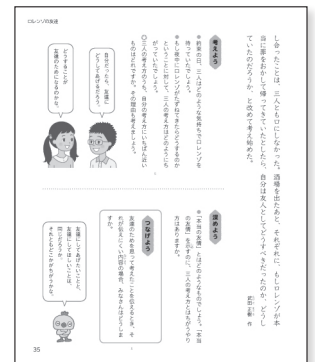
▲5年 15 森の絵 (p.70)

○学びの手引き

授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「考えよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「深めよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につなげる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「考えよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手引きの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。



▲5年 8 知らない間のできごと (p.40)



▲5年 7 ロレンゾの友達 (p35)

○補充教材

それぞれの道徳的価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に5本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



▲5年 32 希 (pp.144-145)

題材の特色 5年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



この他の定番教材

- 7 ロレンゾの友達 (pp.30-35)
- 8 知らない間のできごと (pp.36-41)
- 15 森の絵 (pp.70-75)
- 21 モントゴメリーのバス (pp.94-97)
- 27 銀のしょく台 (pp.120-125)

◀ 5年 19 稲むらの火 (pp.86-87)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点は特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

• 生命の尊厳

- 18 オオカミから教えられたこと (pp.82-85)
- 19 稲むらの火 (pp.86-89)
- 32 希 (pp.144-149)

• 自然

- 26 トキのまう空 (pp.116-119)
- 34 知床の自然 (pp.154-155)

• 伝統と文化

- 5 志高く、今を熱く生きる (pp.22-25)
- 6 よさこいソーラン祭り (pp.26-29)
- 31 世界にひびく伝統の音 (pp.140-143)

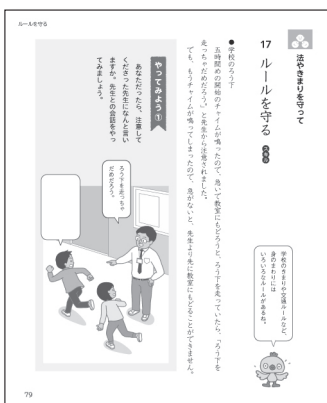
• 先人の伝記・スポーツ

- 5 志高く、今を熱く生きる (渋沢栄一) (pp.22-25)
- 11 新幹線開発物語 (三木忠直) (pp.50-55)
- 12 長嶋茂雄の人生は七転び八起き (長嶋茂雄) (pp.56-59)
- 13 自動車への限りない夢 (豊田喜一郎) (pp.60-63)
- 24 二億人を救った化学者 (大村智) (pp.106-111)
- 25 悲願の金メダル (上野由岐子) (pp.112-115)

• 情報化への対応

- 8 知らない間のできごと (pp.36-41)
- 10 参考にするだけなら (pp.47-49)
- 20 だれかをきずつける機械ではない (pp.91-93)

○体験的な学習のできる教材



他にも体験的な学習のできる教材を多数掲載しました。

- 2 心をつなぐあいさつ (pp.10-13)
- 8 知らない間のできごと (pp.36-41)
- 29 青い目の人形 (pp.131-135)

▲ 5年 17 ルールを守る (p.79)

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
五年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
自分の行動に責任をもって 1 今度こそ！	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] 自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	pp.6-9	1
れいぎ正しく真心をもって 2 心をつなぐあいさつ (スキル)	B [礼儀] 時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。	pp.10-13	1
短所を改め長所をのばす 3 たからもの	A [個性の伸長] 自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。	pp.14-17	1
節度・節制を心がけて 4 ある朝のできごと	A [節度, 節制] 安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。	pp.18-21	1
国や郷土を愛する 5 志高く, 今を熱く生きる (渋沢栄一) 6 よさこいソーラン祭り	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 先人の努力を知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.22-25 pp.26-29	2
豊かな人間関係をつくる 7 ロレンゾの友達 8 知らない間のできごと	B [友情, 信頼] 友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。	pp.30-35 pp.36-41	2
相手の立場に立って 9 ほのぼのテスト	B [親切, 思いやり] 誰に対しても思いやりの心もち, 相手の立場に立って親切にすること。	pp.42-45	1
誠実に明るい心で 〇ごまかしをせず正直に 10 参考にするだけなら	A [正直, 誠実] 誠実に, 明るい心で生活すること。	p.46 pp.47-49	1
くじけずに努力する 11 新幹線開発物語 (三木忠直) 12 長嶋茂雄の人生は七転び八起き (長嶋茂雄) 13 自動車への限りない夢 (豊田喜一郎)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] より高い目標を立て, 希望と勇気を持ち, 困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	pp.50-55 pp.56-59 pp.60-63	3
社会に役立つことを 14 横浜港のガンマンの思い (上坪茂)	C [勤労, 公共の精神] 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。	pp.64-69	1
集団の中で役割を果たす 15 森の絵	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合っ てよりよい学級や学校をつくるとともに, 様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	pp.70-75	1
法やきまりを守って 16 図書館はだれのもの 17 ルールを守る (スキル)	C [規則の尊重] 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切にし, 義務を果たすこと。	pp.76-78 pp.79-81	2

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
かけがえない命を尊重する 18 オオカミから教えられたこと (坂東元) 19 稲むらの火	D [生命の尊さ] 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。	pp.82-85 pp.86-89	2
正義の実現のために ○差別のない社会へ 20 だれかをきずつける機械ではない 21 モントゴメリーのバス (キング牧師)	C [公正, 公平, 社会正義] 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	p.90 pp.91-93 pp.94-97	2
家族の幸せのために 22 わたしにできることを	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	pp.98-101	1
美しさや気高さを感じて 23 よみがえる五百年前の色彩	D [感動, 畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	pp.102-105	1
真理を探究する 24 二億人を救った化学者 (大村智)	A [真理の探究] 真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。	pp.106-111	1
支え合いや助け合いに感謝 25 悲願の金メダル (上野由岐子)	B [感謝] 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	pp.112-115	1
自然かん境を大切に 26 トキのまう空 (近辻宏帰)	D [自然愛護] 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	pp.116-119	1
広い心をもって 27 銀のしょく台	B [相互理解, 寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるときも、謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	pp.120-125	1
すすんで国際親善に努める 28 ブータンに日本の農業を (西岡京治) 29 青い目の人形	C [国際理解, 国際親善] 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	pp.126-130 pp.131-135	2
よりよく生きる 30 花に思いをこめて (星野富弘)	D [よりよく生きる喜び] よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。	pp.136-139	1
国や郷土を愛する 31 世界にひびく伝統の音	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.140-143	1
かけがえない命を尊重する 32 希	D [生命の尊さ] 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。	pp.144-149	1
家族の幸せのために 33 この空は遠い日本とつながっている (和田重次郎)	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	pp.150-153	1
自然かん境を大切に 34 知床の自然	D [自然愛護] 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	pp.154-155	1
よりよく生きる 35 一人はみんなのために…… (元木由記雄)	D [よりよく生きる喜び] よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。	pp.156-159	1
学びの記録 一年間の道徳の学習をふり返ろう	全般	pp.160-162 p.163	—
		計	35